

2025年度 株式会社コープムービング 労働安全マネジメントの取組み 2025年4月1日～2026年3月31日

基本方針	安全(運輸安全・労働安全)は「業務の第一」 事業所ごとの「安全」を見える化し、社員一人ひとりが「安全」を意識する職場づくりを推進します。また、より効果的な未然防止の取り組みを通じて「交通事故ゼロ・労災事故ゼロ」を目指します。	2024年度労働安全に関する目標達成状況	■2024年度目標達成状況 <table><tr><td></td><td>事故種別</td><td>目標件数</td><td colspan="2">発生件数</td></tr><tr><td rowspan="2">労働災害</td><td>労災</td><td rowspan="2">0</td><td>件</td><td>20</td></tr><tr><td>通災</td><td>件</td><td>0</td></tr></table>		事故種別	目標件数	発生件数		労働災害	労災	0	件	20	通災	件	0
	事故種別	目標件数	発生件数													
労働災害	労災	0	件	20												
	通災		件	0												
2025年度テーマ	「安全意識」の向上と「ルール」を守る環境づくりで、 「安心して働ける職場」を実現します	2025年度 労働安全に関する目標	労働災害 0件 動力車事故 0件													

[illegible]

2025年度（上期） 鳴尾浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日：2025年 4月1日

全社方針	業務の第一は「安全」と「健康」 事業所（配送・庫内作業）ごとの「安全」を見える化し、全社員が「安全」を意識する職場づくりから「3つのゼロ」を目指します。また、「健康経営」の取り組みを通して、社員が安心して働ける労働環境の整備と総労働時間削減を実現し、「安全」と「健康」を業務の第一とする事業運営を行います。	事業所課題	●ヒヤリハットアンケートの結果、フォークリフトと歩行者の「激突」に関する事例が大半を占めていた。フォークリフトの運転者と歩行者側の講習会を実施して、双方の安全意識向上が喫緊の課題です。 ●過去に発生した労災事故と同様の重大事故が2件発生した。 ① 空カートを押し進めていた際、前方の作業員の左くるぶしに接触 ② 可動式コンベアに左手が巻き込まれた。 ※過去に発生した事故事例は、特に定期的な注意喚起が必要です。事前に、職場巡回やミーティングでの発信を計画し、確実に注意喚起を行う。 ●労災防止マニュアルを完成させたが、執行度を点検し次年度に向けた改善を検討する。
事業部方針	当社企業理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、物流を通じて組合員のくらし、地域社会貢献の実現に向け 「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。		
事業所方針	コープこうべや関係会社と協力し、働く人一人ひとりが、安全と健康を自分自身、仲間同士の問題ととらえ解決できる組織風土を醸成させます。 ① リスクアセスメントの継続強化 ② 重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 ③ 5S活動の推進	目標	① 労災防止マニュアルを、基本動作・基本ルールとして仕上げる。 ② 基本動作・基本ルールの徹底度を点検し、安全に無理のない動作を定着させる。 ③ BCPの観点から発災時に被害を最小限に抑え、早期復旧ができる体制をつくる。 ④ 労働災害 年間 4件以内（上期2件以内 下期2件以内） ⑤ 動力車事故 年間 0件以内
2024年度下期の活動の評価と見直し	●ヒヤリハットアンケートを実施し、フォークリフトと歩行者双方の危険事例が顕在化しました。 ●労災防止マニュアルが完成し、ルールの執行度の点検と改善を開始します。 ●5Sルールは、労災防止マニュアルで定義しました。 ●カイゼン活動の下期では、庫内修繕工事やシュート口撤去に伴うカイゼン活動を優先させた。 労災防止マニュアルを完成させたことで、基準が明確になりました。	リスクアセスメントの実施結果等における特定事項	

備考： ○・・・取組実施月 ・・・取組期間  備考： ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×・・・75%未満													
	重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
					4	5	6	7	8	9			
① 基本動作・基本ルール策定	リスクアセスメントの継続強化	● 危険性及び有害性などの情報発信	・ 週ごとに、項目を変えて発信	責任者									
		● リスクアセスメント実施	・ 危険源の発掘(ヒヤリハットなど)	リーダー会									
	● リスク低減措置の再検討	・ 6か月毎に実施	リーダー会							●			
	基本動作・基本ルールの策定	● 労災防止マニュアルを検証し、基本動作・基本ルールとして、定義する。	・ 安全面と品質面のルールに分類	リーダー会							●		
		(安全に無理なく動作が定着している)	・ 巡回時の点検から改善を検討	責任者									
		・ 基本動作・基本ルールとして改定	リーダー会							●			
② ルールの徹底度	ルールの改善活動	● 基本動作・基本ルールを安全面と品質面の判断基準に仕上げる	・ リーダー会での審議事項とする。	リーダー会									
		● 作業者に対するフォークリフト安全ルールづくり	・ 安全ルールの明確化	責任者							●		
③ BCP体制構築	BCP啓蒙活動	● 始業前ミーティング時における発信	・ 資料配布(3か月毎に1回以上)	責任者			●				●		
		● 安否確認訓練	・ 当日回答率向上	責任者		前年実施月		前年実施月					
		5S活動推進	● 備品の回転率研究(作業場の拡大)	・ 補充している備品の数量把握	リーダー会								
● 定位置管理ルールの検討	・ 備品の定位置管理		責任者										

2025年度 上期 魚崎浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2025年 4月 1日

全社方針	業務の第一は「安全」と「健康」 事業所(配送・庫内作業)ごとの「安全」を見える化し、全社員が「安全」を意識する職場づくりから「3つのゼロ」を目指します。また、「健康経営」の取り組みを通して、社員が安心して働ける労働環境の整備と総労働時間削減を実現し、「安全」と「健康」を業務の第一とする事業運営を行います。	事業所課題	1. 安全対策の立案と実践はできつつあるが完全風土化に至っていない。 安全は事業継続の根底に必要な重要事項であることを今以上に強く認識する必要がある。 2. ルールの維持継続 3. ライン作業ゆえの焦りの気持ち 4. 週ごとに変化する激しい物量変化への時間外コントロール
事業部方針	全社方針である「3つの0の取組」と、「リスクアセスメント、5S活動」を推進し、ルールを守る組織風土の構築、および、社員が安全安心で明るく活気ある職場環境を目指します。 一人一人の安全意識向上と安全取組の維持/改善の積み重ねによって、全員で「労働安全魚崎浜モデル」の構築をすすめます。 どのような状況下においても安全を最優先とした荷役作業の実践を全従業員で徹底します。		
事業所方針	1. 作業手順書作成、情報発信はWEBソフトを最大限利用し、全従業員に迅速に周知徹底 2. 過去に発生した災害事案と対策の周知と対策の継続 3. リスクアセスメント、5S取組を推進し、より安全で安心な職場の構築と全従業員に5Sの習慣化を目指す 4. コンプライアンス知識習得、ルールを遵守できる職場構築 5. 動力車操作、荷役作業における乗務員の安全意識向上の教育継続	目標	1. 重大労働災害ゼロ 2. 交通事故、動力車事故ゼロ 3. リスクアセスメントにおける管理的対策を、本質的/工学的対策とする 4. 5S取組推進による職場安全環境の推進 5. 社員全員が安全最優先を強く認識し行動している(風土化)
2024年度下期の活動の評価と見直し	1. 活動評価 前年下期の通災を除く災害発生件数5件に対し6件が発生(労働災害3件、交通事故3件、動力車事故0件) 労働災害と動力車事故は対策実施により目標件数内に抑制。送迎バスにおいて事故増加となり課題を残す結果となった (1) 労災:3件のうち、2件がカッターによる切創災害 ⇒対策:あらたな切創事故対策として手袋テーピングをルール化) (2) 交通事故3件のうち、2件が送迎バスによる物損事故 ⇒対策:具体的指導実施(オーバーハング影響数値化し指導、安全速度保持方法としてエンジン/排気ブレーキの有効活用方法教育) ドライブレコーダー事故事例視聴による原因と対策立案⇒全乗務員への教育を実施 (3) 動力車事故0件 ⇒対策:実際の作業環境に対応できる作業手順書作成とルールの周知徹底を実施(日々、重ねての注意喚起を実施)	上期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	

備考: ○…取組実施月 …取組期間 備考: ○…100%実施、△…75%以上、×75%未満

	重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次期計画での検討事項	留意点	
					4月	5月	6月	7月	8月	9月				
取組項目	重篤災害防止	1 発生頻度が高い「転倒、挟まれ」事故の注意喚起	全作業者が「足元注意」が風土化	管理M・チーフ・リーダー	○	○	○	○	○	○				
		2 労災抑制視野拡大(危険箇所・行為の周知)	危険箇所/行為の周知対策が実践されている	管理M・チーフ	○	○	○	○	○	○				
	リスクアセスメント 継続強化	3 新たな危険源集約/優先順位/リスク低減措置	運用変更時のリスク把握/対策ができています	M・チーフ	○	○	○	○	○	○				
		4 ハラスメントゼロ取組	知識/対策を習得し、節度ある職場となっている	ライン長以上	○	○	○	○	○	○				
		5 異動者、新人への安全教育	実務前に基本安全教育が実施されている	リーダー・ライン長	○	○	○	○	○	○				
		6 マテハン機器メンテナンス	常にメンテナンスできており安全な状態	管理M	○	○	○	○	○	○				
	5S活動 推進/継続	1 3定推進	備品等紛失、異物混入の恐れがない状態	チーフ・リーダー	○	○	○	○	○	○				
		2 日頃の整理整頓(不要物の廃棄)	躓き、転倒の恐れがない職場	ライン長以上	○	○	○	○	○	○	○			
		3 作業者が参画した職場巡視	職場全体で安全取組風土ができています	安全管理者	○	○	○	○	○	○				
	交通事故撲滅 危険予知(KYT)	1 各KC台帳のメンテナンス	最新の状況、注意事項が記載されている	M・チーフ	○	○	○	○	○	○				
		2 送迎バス安全運用(KYT・ルール順守チェック)	必要知識を身に付け安全運航ができています	管理M・チーフ	○	○	○	○	○	○				
		3 動力車作業ルールの注意喚起継続	法令・ルールを把握し実践できている	M・チーフ・リーダー	○	○	○	○	○	○				
	社内(事業所)の ルールの整備、教 育、 浸透の実施	1 手順書の更新(見直し)	常に最新の情報が記載されている	M・チーフ	○	○	○	○	○	○				
		2 ルール、情報の周知徹底	速やかに情報共有化されている	M・チーフ	○	○	○	○	○	○	○			
		3 定例会の充実/継続	現場監督者、荷主との情報交換・共有化	M・チーフ	○	○	○	○	○	○	○			
	各種会議 職場巡視 安全記録化	1 ライン長会議の継続/充実化	現場監督者と情報共有ができています	ライン長以上	○	○	○	○	○	○				
2 安全衛生日誌の記録充実化		社員の安全/健康状況把握	管理M	○	○	○	○	○	○					

